

みずほCustomer Desk Report 2025/07/10号(As of 2025/07/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.89
TKY 9:00AM	146.86	1.1724	172.19	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.19	1.1782	172.25	1.3586	0.6524
SYD-NY Low	146.25	1.1690	171.31	1.3620	0.6553
NY 5:00 PM	146.33	1.1723	171.52	1.3566	0.6492
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,458.30	217.54	日本2年債	0.7500%	0.0200%
NASDAQ	20,611.34	192.88	日本10年債	1.5000%	0.0100%
S&P	6,263.26	37.74	米国2年債	3.8481%	▲0.0477%
日経平均	39,821.28	132.47	米国5年債	3.9088%	▲0.0673%
TOPIX	2,828.16	11.62	米国10年債	4.3340%	▲0.0703%
シゴ日経先物	39,985.00	▲70.00	独10年債	2.6315%	▲0.0105%
ロンドンFT	8,867.02	12.84	英10年債	4.6025%	▲0.0280%
DAX	24,549.56	342.65	豪10年債	4.3520%	0.0730%
ハンセン指数	23,892.32	▲255.75	USDJPY 1M Vol	10.30%	▲0.38%
上海総合	3,493.05	▲4.43	USDJPY 3M Vol	10.22%	▲0.20%
NY金	3,321.00	4.10	USDJPY 6M Vol	10.09%	▲0.18%
WTI	68.38	0.05	USDJPY 1M 25RR	▲0.79%	Yen Call Over
CRB指数	301.65	▲0.64	EURJPY 3M Vol	8.43%	▲0.09%
ドルインデックス	97.56	0.04	EURJPY 6M Vol	8.71%	▲0.09%

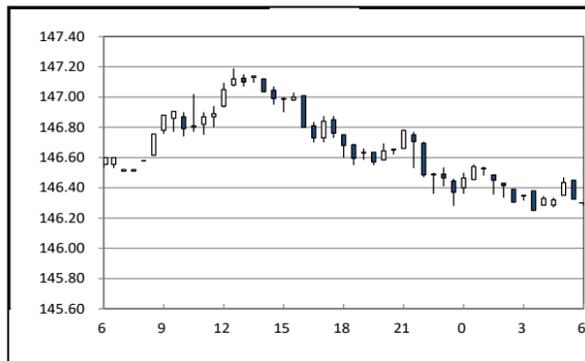
【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
7月9日	10:30	中	PPI(前年比)	6月 -3.6%	-3.2%
	10:30	中	CPI(前年比)	6月 0.1%	-0.1%
	11:00	新	RBNZオフィシャル・キャシュレート	9-Jul 3.25%	3.25%
	23:00	米	卸売在庫(前月比)・確報	5月 -0.3%	-0.3%
	23:00	米	卸売売上高(前月比)	5月 -0.3%	0.2%
7月10日	03:00	米	FOMC議事要旨	金融政策の調整では慎重な対応が引き続き適切	

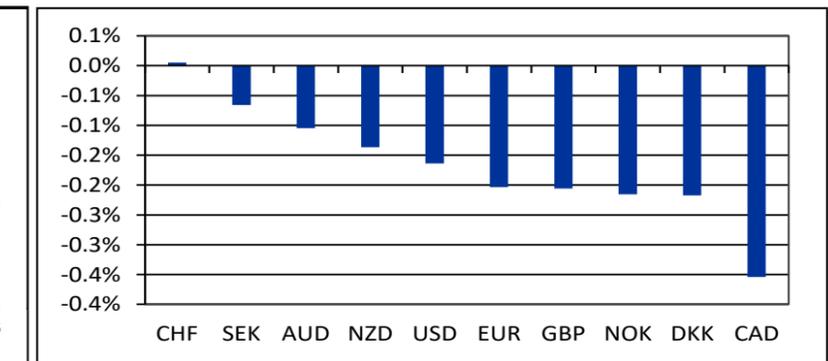
【本日の予定】

Date	Time	独	Event	予想	前回
7月10日	15:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.0%/2.0%	0.0%/2.0%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	5-Jul 235k	233k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-146.80	1.1680-1.1760	170.50-172.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間朝方は円売りが先行し一時147円台まで上昇。その後は米金利低下が重しとなり円が買い戻されて下落。米国時間に発表されたFOMC議事録も特段サプライズがなかったことから反応が薄く、そのまま146円前半でクローズ。本日のドル円は動意に欠ける展開を予想。引き続き米国の関税ヘッドラインに反応するであろうものの、8/1の交渉期限まではまだ時間があるためトレンドにはならないか。参院選も控える中ではポジションを傾けにくく、146円近辺での推移が続くと思われる。

東京	東京時間のドル円は146.86レベルでオープン。仲値にかけて強まったドル売り圧力が一服すると、ドル円は上昇に転じ、前日の高値を抜け147円を突破。一旦押し返されたものの、堅調な株価を受けたリスクオンや日銀の利上げ観測交代の円売りから、ドル円は一時147.19まで上昇。終盤やや下押しも高値圏での推移は維持し、147.00レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は147.00レベルでオープン。NY時間にFOMC議事要旨の公表を控えるなか、高値圏でアジア時間から引き継がれたことなどから軟調に推移し146円台半ばまで下落したのち、146.75レベルでNY市場に渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は新規材料が乏しい中、米金利の低下が重しとなり、146.25までじり安で推移。午後に発表されたFOMCの議事要旨では、次回会合で利下げの可能性のある事を示唆した文言も見られたが、特段サプライズがなかった事からドル円は反応薄。その後は小幅反発し、146.33レベルでクローズ。一方、ユーロドルは手がかりが乏しい中、日中を通じて1.1710付近を挟んだ狭いレンジ推移が続き、その後1.1723レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。